

## 提案書評価基準

### 1 基本的な評価事項

表 1 のとおり。

表 1 基本的評価事項

評価項目 ( )配点	評価の着目点	配点	評価	評価の換算式	評価点
業務実施体制 (15 点)	業務実施体制が整っているか	15			
業務実績 (15 点)	本業務に活かすことのできる類似の業務実績があるか	15			
提案内容 (70 点)	業務内容を的確に理解しているか	15			
	実現性の高い提案であるか	20			
	先見性のある視点が取り入れられているか	20			
	取組意欲の感じられる提案であるか	15			
ワーク・ライフ・バランス等に関する取組み (6 点)	企業として、ワーク・ライフ・バランス等に取組んでいるかどうか。 <input type="checkbox"/> 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員 101 人未満の場合のみ加算） <input type="checkbox"/> 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員 101 人未満のみ加算） <input type="checkbox"/> 次世代育成支援対策推進法による認定の取得（トライくるみんマーク、くるみんマーク、プラチナくるみんマーク）、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定（えるぼし、プラチナえるぼし）の取得、又は、よこはまグッドバランス企業認定の取得 <input type="checkbox"/> 青少年の雇用の促進等に関する法律に基づくユースエール認定の取得 <input type="checkbox"/> 障害者雇用促進法に基づく法定雇用率 2.5% の達成（従業員 40 人未満の場合は障害者を 1 人以上雇用している） <input type="checkbox"/> 健康経営銘柄、健康経営優良法人（大規模法人・中小規模法人）の取得、又は、横浜健康経営認証の AAA クラス若しくは AA クラスの認証	6			
評点の合計（106 点満点）					

### 2 評価方法

- (1) 提案者の業務実施体制、業務実績及び提案内容は、A、B、C、D、E の 5 段階評価を行う。
- (2) 評価点について、次のように配点を行う。
  - ア 提案者の業務実施体制、業務実績及び提案内容は、それぞれの配点に、換算した評価（A = 5 / 5、B = 4 / 5、C = 3 / 5、D = 2 / 5、E = 1 / 5 とする。）を

乗じて算出する。

例えば、表1において配点20点の項目の場合

評価がAであれば評価点は  $20 \times 5 / 5 = 20$  点

評価がBであれば評価点は  $20 \times 4 / 5 = 16$  点

評価がCであれば評価点は  $20 \times 3 / 5 = 12$  点

評価がDであれば評価点は  $20 \times 2 / 5 = 8$  点

評価がEであれば評価点は  $20 \times 1 / 5 = 4$  点

イ ワーク・ライフ・バランス等に関する取組の評価については、表1の「評価の着目点」に記載した項目について1つ満たすごとに1点を加算する。

(3) アの評価項目の評価の視点は、表2のとおりとする。

(4) 評価が同点となった場合は、評価委員会に出席した委員の多数決で決し、票数が同数の場合は、委員長の決するところによる。

表2 評価の視点

評価項目	評価の着目点	評価				
		A	B	C	D	E
業務実施体制	業務実施体制が整っているか	十分整っている	整っている	どちらともいえない	あまり整っていない	整っていない
業務実績	本業務に活かすことのできる類似の業務実績があるか	類似の実績が十分ある	類似の実績がある	類似の実績が概ねある	類似の実績が少ない	類似の実績がない
提案内容	業務内容を的確に理解しているか	的確に理解している	理解している	どちらともいえない	あまり理解していない	理解していない
	実現性の高い提案であるか	実現性が特に高い	実現性がある	どちらともいえない	実現性が低い	実現性がない
	先見性のある視点が取り入れられているか	十分取り入れられている	取り入れられている	どちらともいえない	あまり取り入れられていない	取り入れられない
	取組意欲の感じられる提案であるか	強い意欲が認められる	意欲が認められる	どちらともいえない	あまり意欲が認められない	意欲が認められない
ワーク・ライフ・バランス等に関する取組	表1の「評価の着目点」に記載した項目を満たしているか	項目について1つ満たすごとに1点を加算する				